

エピペン[®]をお使いになる患者さんのための エピペン[®]の使い方マニュアル

エピペン[®]注射液 0.3mg エピペン[®]注射液 0.15mg

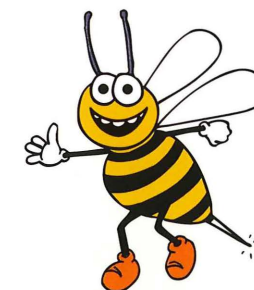
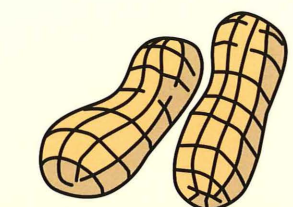
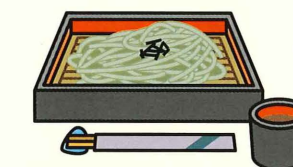
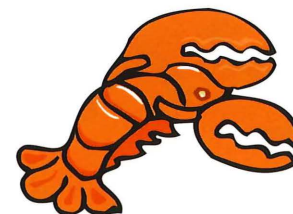
アドレナリン注射液



マイラン製薬株式会社

ご説明内容

アナフィラキシーとは	3ページ
アナフィラキシーの代表的な症状	4ページ
エピペン®の処方にあたって	5ページ
アナフィラキシー補助治療剤 エピペン®とは	6ページ
エピペン®の効果と副作用	7ページ
エピペン®について	8ページ
エピペン®の特長	9ページ
エピペン®の使い方：使用するタイミングについて	10ページ
エピペン®の使い方：誤注射を避けるために	11ページ
エピペン®の使い方	12ページ
自己注射の練習	14ページ
エピペン®を使い終わったら	16ページ
保存と携帯についての注意事項	17ページ
エピペン®の有効期限について（「お知らせプログラム」の登録について）	18ページ
エピペン®のホームページとカスタマーサポートセンターのご案内	19ページ



アナフィラキシーとは

アナフィラキシーとは、急性(即時型)で、全身性のアレルギーのことです。

アナフィラキシーを引き起こす代表的な原因(アレルゲン)



昆虫(スズメバチなど)に刺され、
毒などが体内に入る。

食物(卵、牛乳、小麦、そば、落花生など)
を摂取する。



その他、
薬物(抗生物質、解熱鎮痛剤、ワクチン、麻酔薬など)、
ラテックス(天然ゴム手袋など)や運動でもアナフィラキシーを
引き起こすことがあります。

アナフィラキシーとは

異物がヒトの体内に侵入したときに、体を守ろうとする防御(免疫)反応が不利に作用することによって、かゆみ、くしゃみ、炎症、喘息などの様々な症状を引き起こすのがアレルギーです。

アナフィラキシーとは、アレルギーの原因物質(アレルゲンまたは抗原)に接触したり、摂取した後に、数分から数十分以内に複数の臓器や全身に現れる激しい急性(即時型)のアレルギー反応のことです。場合によっては、呼吸困難や意識障害などのショック(アナフィラキシー・ショック)症状を引き起こし、生命を脅かすこともあります。

ショック症状



呼吸困難



意識障害

エピペン[®] 注射液 0.3 mg エピペン[®] 注射液 0.15 mg

アドレナリン注射液

アナフィラキシーの代表的な症状

体質によってはハチに刺されたり、アレルゲンとなる食物を摂取したりすると、数分から数十分後に体に様々な症状が現れることがあります。

その症状は急激に変化し、初めの症状が発現してから数分後に、ショック状態に至ることもあります。

アナフィラキシーの症状一覧

	自覚症状	他覚症状
全身症状	不安感、無力感	冷汗
循環器症状	<small>しん き こう しん どう き</small> 心悸亢進(動悸)、胸内苦悶	血圧低下、脈拍微弱、 脈拍頻数、チアノーゼ
呼吸器症状	<small>こう とう きょう さく かん</small> 鼻閉、喉頭狭窄感(気道が狭くなる)、 <small>こう やく かん</small> 胸部絞扼感(しめつけ感)	くしゃみ、咳発作、 <small>ぜん めい</small> 喘鳴(ゼーゼー、ヒューヒューという呼吸音)、呼吸困難、チアノーゼ
消化器症状	悪心(吐き気)、腹痛、腹鳴、便意、 尿意、口内異物感	嘔吐、下痢、糞便、尿失禁
粘膜・皮膚症状	皮膚そう痒感(かゆみ)	皮膚蒼白、皮膚の一過性紅潮、 <small>がん けん ふ しゅ</small> じん麻疹、眼瞼浮腫(まぶたの腫れ)、 口腔粘膜浮腫、舌の腫脹(舌の腫れ)
神経症状	口唇部しびれ感、 四肢末端のしびれ感、耳鳴、 めまい、眼の前が暗くなる	けいれん、意識障害



めまい



呼吸困難



意識障害

エピペン®の処方にあたって

- アナフィラキシー症状を発現したことがある方は、発現状況を詳しく正確に伝えてください。

P.4の表で該当する症状はありますか？

※どの種類のハチに刺されたかわかる方は、その種類も教えてください。

典型的なアナフィラキシー症状 (P.4参照)

アレルゲンが体内に入ってから数分～数十分以内に、
血圧低下、めまい、ショック、呼吸困難、意識障害等があらわれます。



めまい



呼吸困難



意識障害

- 生活環境(職業、趣味、居住環境等)を教えてください。

- 体重を教えてください。

※エピペンは、通常体重15kg以上の方が対象になります。

(処方の目安) アドレナリンとして0.01mg/kgを基準として処方します。

- エピペン®注射液0.15mg : 体重15kg以上30kg未満の方
- エピペン®注射液0.3mg : 体重30kg以上の方

- 次の項目に該当する方は、その内容を詳しく正確に伝えてください。

- ☐ 1. 今、服用している薬(市販薬も)がある
- ☐ 2. 妊娠中または授乳中である
- ☐ 3. エピペン、あるいは他のアドレナリン注射剤で過敏症を起こしたことがある
- ☐ 4. 甲状腺の機能が低い
- ☐ 5. 動脈硬化症がある
- ☐ 6. 糖尿病がある
- ☐ 7. 不整脈がある
- ☐ 8. 精神神経症で治療を受けている
- ☐ 9. コカイン中毒で治療を受けている

エピペン® 注射液 0.3mg エピペン® 注射液 0.15mg

アドレナリン注射液

アナフィラキシー補助治療剤 エピペン®とは

エピペンは、アナフィラキシーが発現した際の補助治療を目的とした自己注射用製剤です。
エピペンの使用後は、直ちに医療機関で医師による診察を受けてください。

- エピペンには、アナフィラキシー発現時の治療に用いられるアドレナリンの薬液と注射針が内蔵されています。
- 安全キャップをはずしてオレンジ色のニードルカバーの先端を太ももの前外側に強く押し付けるだけで、内蔵されている針がでてきて注射ができるしくみになっています。
- 注射する部位は、太ももの前外側のみです。
- お尻や静脈には注射をしないでください。
- 1回使い切りで、再度注射することはできません。
- エピペンには2種類の製剤があり、アドレナリンとして0.01mg/kgを基準として体重にあわせて処方されます。

(目安)

体重30kg以上の方

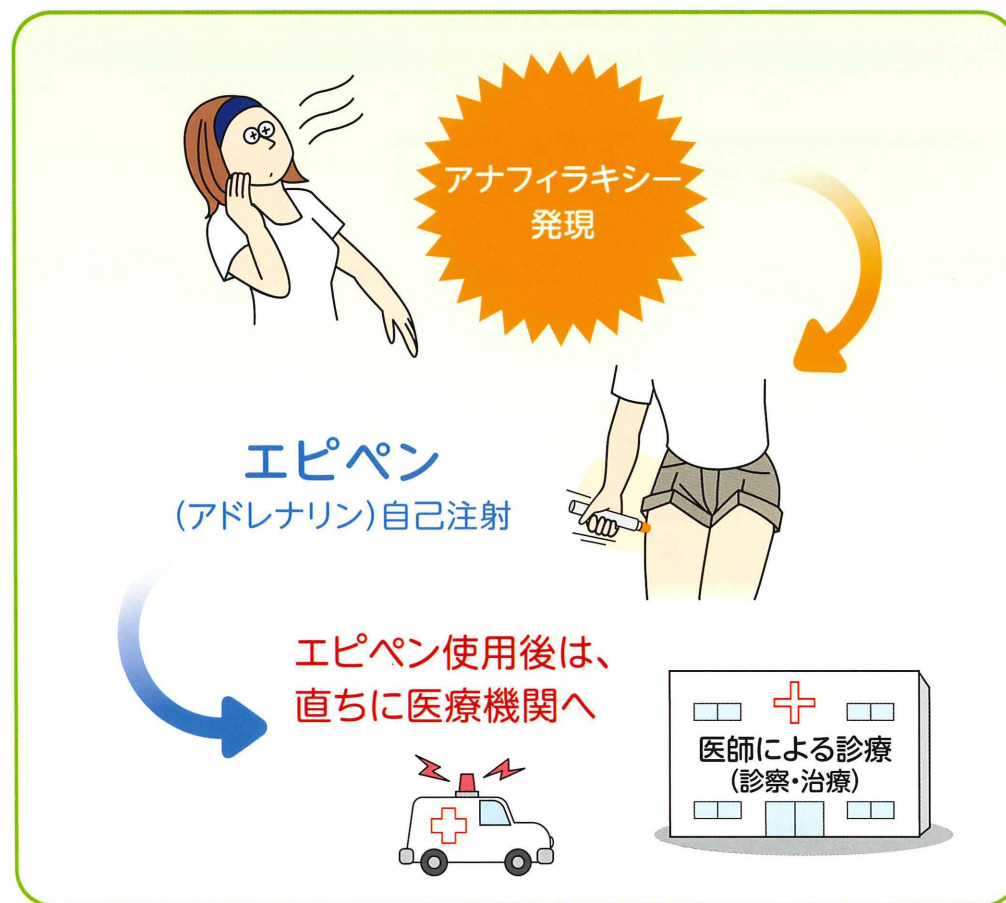
エピペン®注射液0.3mg(黄色の製剤:アドレナリン0.3mg投与)

体重15kg以上~30kg未満の方

エピペン®注射液0.15mg(緑色の製剤:アドレナリン0.15mg投与)

- 誤注射の危険性がありますので、エピペン本体は絶対に分解しないでください。

エピペンはアナフィラキシーの補助治療剤



エピペン®の効果と副作用

エピペンはアドレナリンという薬の入った自己注射器です。
アドレナリンを大量投与、または不慮に静脈内に投与した場合、
急激な血圧上昇などを起こす場合があります。

主なアナフィラキシーの症状



めまい



呼吸困難

ショック症状



意識障害

エピペンによる自己注射



エピペン®注射液0.3mg



エピペン®注射液0.15mg

アドレナリンの効果

気管支を広げ、
呼吸器症状を改善

心臓の機能を増強し、
血圧を上昇させ、
ショック症状を改善

アドレナリンの副作用

ふるえ、熱感・発汗、蒼白、顔面潮紅、
血圧の異常上昇など

エピペン® 注射液 0.3mg エピペン® 注射液 0.15mg

アドレナリン注射液

エピペン®について

エピペン注射液にはアドレナリン0.15mg投与とアドレナリン0.3mg投与の2種類の製剤があり、アドレナリンとして、0.01mg/kgを基準として体重にあわせて処方されます。
エピペンは薬液(アドレナリン)と注射針一体型の注射器で、携帯用ケースに収められています。

エピペン®注射液0.3mg(黄色の製剤):アドレナリン0.3mg投与

目安: 体重
30kg以上
の方



練習用エピペントレーナー



携帯用ケース



製品(エピペン®注射液)0.3mg

エピペン®注射液0.15mg(緑色の製剤):アドレナリン0.15mg投与

目安: 体重
15kg以上
30kg未満
の方



練習用エピペントレーナー



携帯用ケース



製品(エピペン®注射液)0.15mg

連絡先シール

箱に含まれているもの

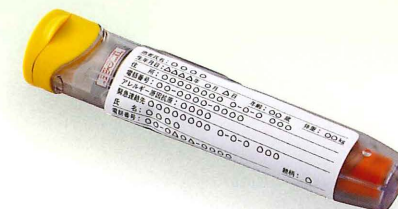
- ☐ エピペン注射液
- ☐ 練習用トレーナー
- ☐ 添付文書
- ☐ 使用情報
- ☐ 登録ハガキ
- ☒ 連絡先シール

患者氏名:	_____
生年月日:	____年 ____月 ____日 年齢: ____ 歳 体重: ____ kg
住 所:	_____
電話番号:	_____
アレルギー原因抗原:	_____
緊急連絡先	_____
氏 名:	_____ 性別: _____
電話番号:	_____
処方医 氏 名	_____
施設名・診療科	_____
電 話 番 号	_____

次のような状況が発生した時は、直ちに処方医等に連絡ください。
・自己注射した時 ・本剤の不具合、誤作動があった時 ・有効期限切れで有効した時

マイラン製薬株式会社カスタマーサポートセンター ☎ 0120-194-701

エピペンの注射後等に連絡していただく際の連絡先を記載するシールです。
使用する前に、携帯用ケースに連絡先シールを貼ってください。



■連絡先シールの貼付例

エピペン®の特長

開けやすい
ワンタッチ押し上げ式
携帯用ケース

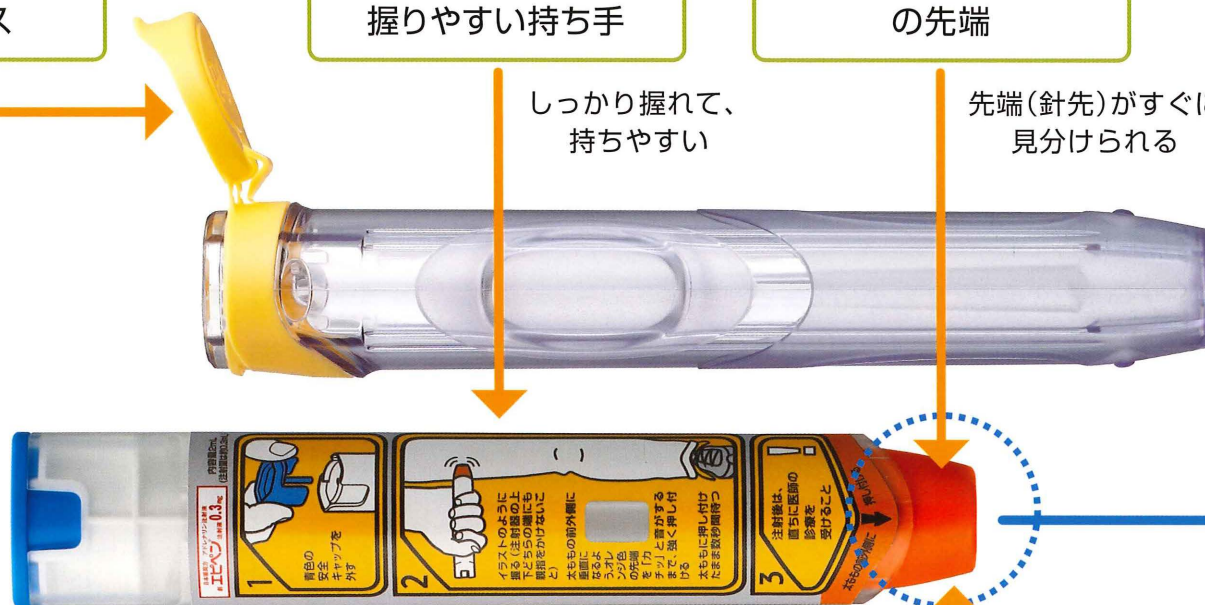
片手で簡単に
開けられる

人間工学的に
設計された
握りやすい持ち手

しっかり握れて、
持ちやすい

明るい
オレンジ色
の先端

先端(針先)がすぐに
見分けられる



視認性を高め
誤注射を防ぐ
安全機構

イラストが大きく
使い方が
すぐに分かる

使用前も使用後も、
針が露出しない
(安全性が向上)

青色の
安全キャップ

分かりやすい
イラスト付き
取扱説明

内蔵された
オレンジ色の
ニードルカバー



使用前

使用后

エピペン® 注射液 0.3 mg エピペン® 注射液 0.15 mg

アドレナリン注射液

エピペン[®]の使い方：使用するタイミングについて

エピペン注射のタイミングは、過去のアナフィラキシー発現の有無や初期症状等を参考にします。
処方医師から説明されたアナフィラキシーの徴候や症状を感じた時に、速やかに注射してください。

注射タイミングの目安

- 下記の初期症状が発現し、ショック症状が発現する前の時点

しびれ感

違和感

口唇の浮腫

気分不快

吐き気

嘔吐

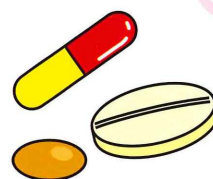
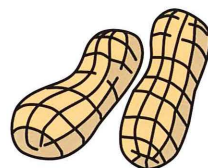
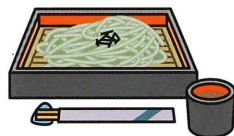
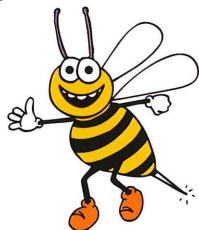
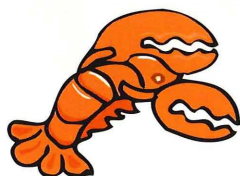
腹痛

じん麻疹

咳こみ

など

- 過去に起こしたアナフィラキシーの原因となったアレルゲンを誤って摂取し、
明らかな異常症状を感じた時点



ハチに刺された時の注意



- 皮膚に残った毒針を強く押し
たり、皮膚に深く押しこんだ
りしないでください。
- 毒針が皮膚に残っている場合
は、毒針を爪等で取り除いて
ください。

エピペン[®]の使い方：誤注射を避けるために

注意：●オレンジ色のニードルカバーの先端に指または手等を押し当てると、針が出て誤注射する危険があるので、絶対に行わないでください。

- 使用後、薬液の大部分（約1.7mL）が注射器内に残っていますが、再度注射することはできません。
- 誤注射の危険性がありますので、絶対に分解しないでください。



正しい持ち方



誤った持ち方

体の誤ったところにエピペンを使用してしまったら…

- エピペンを指または手等に誤って使用した場合、その部分の血流量が減少することがあります。誤って注射した場合には、直ちに最寄りの医療機関を受診してください。
- エピペン（アドレナリン）を誤って使用した旨を必ず医師に伝え、誤って使用してしまったエピペンと青色の安全キャップを医師に渡してください。
- 当院以外の医療機関で治療を受けた場合には、治療医師から当院（処方医師）または、カスタマーサポートセンターに連絡してもらってください。また、患者さん自身も当院（処方医師）にご連絡ください（P.16参照）。

エピペン[®]の使い方：ステップ1～ステップ2

エピペンは、実物を用いて練習することはできません。

実際の使い方を習得するためには、注射針も薬液も含まない『練習用エピペントレーナー』をご活用ください。

使い方

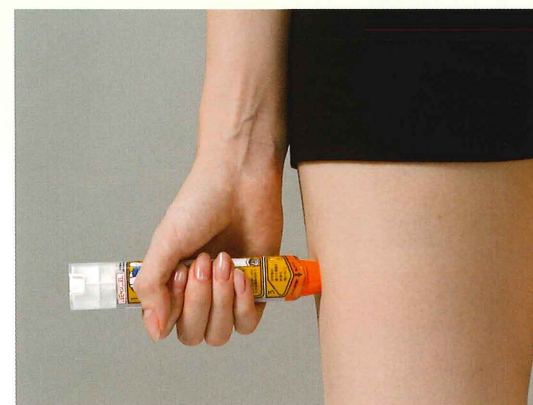
ステップ1 準備

携帯用ケースのカバーキャップを指で押し開け、エピペンを取り出します。オレンジ色のニードルカバーを下に向けて、エピペンのまん中を片手でしっかりと握り、もう片方の手で青色の安全キャップをはずし、ロックを解除します。



ステップ2 注射

エピペンを太ももの前外側に垂直になるよう、オレンジ色のニードルカバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し付けます。太ももに押し付けたまま数秒間待ちます。エピペンを太ももから抜き取ります。



注意事項

- 青色の安全キャップをかぶせた状態では、バネが固定されており、注射針が不用意に飛び出さなくなっています。使用時まで青色の安全キャップは取り外さないでください。
- 安全キャップを外した後は、誤注射を防ぐため取り扱いに十分注意してください。
- 絶対に指または手等をオレンジ色のニードルカバーの先端に当たないように注意してください。
- 使用する前に注射器の窓から見える薬液が変色していないか、また沈殿物がないかを必ず確認してください。

- エピペンの上下先端のどちらにも親指をかけないように握ってください。
- 太ももの前外側以外には注射しないでください。
- 緊急の場合には、衣服の上からでも注射できます。



エピペン[®]の使い方：ステップ3～ステップ4

※練習用エピペントレーナーは、エピペン注射液0.3mg/0.15mgと同じ箱と一緒に収められています。

※エピペン注射液0.3mgとエピペン注射液0.15mgの使い方は同様です。

ステップ3 確認

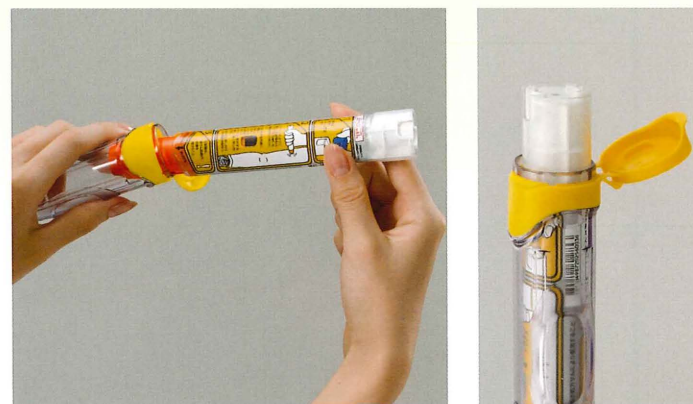
注射後、オレンジ色のニードルカバーが伸びているかどうかを確認します。ニードルカバーが伸びていれば注射は完了です（針はニードルカバー内にあります）。



- オレンジ色のニードルカバーが伸びていない場合は、注射は完了していませんので、再度、ステップ1～3を繰り返して注射してください。
- エピペンの注射後は、直ちに医師による診療を受けてください。

ステップ4 片付け

使用済みのエピペンは、オレンジ色のニードルカバー側から携帯用ケースに戻します。



- 注射後は、オレンジ色のニードルカバーが伸びているため、携帯用ケースのふたは閉まりません。無理に押し込まないようにしてください。
- 注射後、薬液の大部分（約1.7mL）が注射器内に残っていますが、再度注射することはできません。
- エピペン注射液を使用した旨を医師に報告し、使用済みのエピペン注射器と青色の安全キャップを医療機関等にお渡しください。

エピペン[®] 注射液 0.3mg エピペン[®] 注射液 0.15mg

アドレナリン注射液

自己注射の練習：ステップ1～ステップ2

エピペンを適正に使用しなかった場合、重大な事故等につながるおそれがあります。
日頃から『練習用エピペントレーナー』を用いて、使用方法等を習熟しておいてください。

使い方

ステップ1 準備

オレンジ色のニードルカバーを下に向けて
エピペンのまん中を片手でしっかりと握り、もう片方の手で青色の安全キャップを
外します。



ステップ2 注射

エピペンが太ももの前外側に垂直になる
よう、オレンジ色のニードルカバーの先端
を「カチッ」と音がするまで強く押し付け
ます。太ももに押し付けたまま数秒間待
ちます。



●注射するところを確認しながら練習してください。

自己注射の練習：ステップ3～ステップ4

※練習用エピペントレーナーは、エピペン®注射液0.3mgとエピペン®注射液0.15mgのそれぞれの箱と一緒に収められており、両製剤での使い方は同様です。

ステップ3 確認

注射後、オレンジ色のニードルカバーが伸びたことを確認します。



使用前



使用後

ステップ4 片付け

① 青色の安全キャップの先端を元の場所に押し込んで戻します。



② オレンジ色のニードルカバーの先端を机などの硬い面の上に置きます。オレンジ色のニードルカバーの両側上部を指で押さえながら、トレーナー本体を下に押しつけて収納します。



エピペン® 注射液 0.3 mg エピペン® 注射液 0.15 mg

アドレナリン注射液

エピペン[®]を使い終わったら

エピペンはアナフィラキシー発現時の補助治療剤です。医療機関での治療に代わり得るものではありません。
エピペンの注射後は、直ちに医師による診療を受けてください。
その際、次の点にご注意ください。

エピペン注射後は、
直ちに医師による診療を受けてください

- 医師にエピペンを使用したことを伝えてください。
- 医師に太ももの注射部位を示し、
エピペン使用前の症状および使用
後の経過を説明してください。
- 使用後は、携帯ケースに入れた
エピペンを医師に渡してください。



医師から、エピペンの
再処方を受けるようにしてください

以下の場合にも、
医師または薬剤師に連絡してください

- エピペンの保存による薬液の異常や注射液の異常がみつ
かった時 (p.17)
- 有効期限切れ直前のエピペンを返却する時 (p.18)

※アナフィラキシーの発現状況は、人によって様々です。
エピペンによるアナフィラキシー発現時の補助治療には限界
があることをご理解ください。

保存と携帯についての注意事項

アナフィラキシー発現時にいつでも注射できるよう、日頃からエピペンの適切な管理を心がけましょう。

保存方法については次の点にご注意ください

- 自宅等ではエピペンをいつも手の届く場所に置き、いつでも使えるよう準備しておいてください。
- エピペンの有効成分であるアドレナリンは光に分解しやすいため、携帯用ケースに収められた状態で保存・携帯してください。
- 15℃～30℃で保存することが望ましいので、冷所（例：冷蔵庫の中）または日光の当たる高温下（例：夏場の車のダッシュボードの中）等に放置しないでください。
- 幼児の手の届かないところに保存してください。
- 外出時にはアナフィラキシー発現時にそなえて、すぐに使えるよう携帯してください。
- エピペンはプラスチック製品ですので、コンクリート等硬いところに落としますと破損する可能性がありますのでご注意ください。
- 飛行機内にエピペンを持ち込む場合は、所持品検査時のトラブルを避けるため、予約時に機内に持ち込む旨を連絡しておくことをおすすめいたします。



冷蔵庫には
保存しないでください。



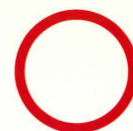
車のダッシュボード
には保存しないでください。



幼児の手の届かないところに
保存してください。

エピペンに異常があった場合

- 注射器の窓から見える薬液が変色していたり、沈殿物がみつかったりした場合には、使用しないでください。



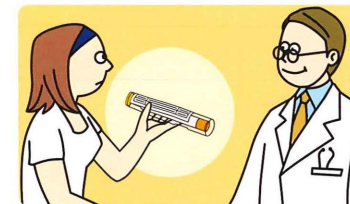
液が透明

注射器の窓



液が茶色になってきた

※異常がみつかったら、直ちに医師または薬剤師に連絡し、新しいエピペンの処方を受けてください。その際には、古いエピペンを医師または薬剤師に渡し、カスタマーサポートセンターに連絡してもらってください。



エピペン[®] 注射液 0.3mg エピペン[®] 注射液 0.15mg

アドレナリン注射液

エピペン[®]の有効期限について（「お知らせプログラム」の登録について）

エピペンには有効期限があります。「カスタマーサポートセンター」では、ご使用時の有効期限切れを防ぐ目的で、「有効期限切れ等お知らせプログラム」を設けていますので、必ずご登録ください。

登録申し込み

登録ハガキに必要事項をご記入の上、「カスタマーサポートセンター」あてに郵送してください。

外箱または製品ラベルの
製品番号・有効期限の記載を確認

例

製造番号：M030STA
有効期限：2013.5



期限切れのご案内

「カスタマーサポートセンター」より事前に有効期限切れのお知らせが届きます。



当院へ

有効期限が切れる直前に、未使用のエピペンを当院に持ってきてください。
※当院にて医療廃棄物として廃棄致します。



再処方

改めて診察を受け、新しいエピペンの処方を受けてください。
初回と同様に登録ハガキで再登録してください。



※記入方法は、登録ハガキ参照

- 登録ハガキは、製品とともに箱の中に入っています。
- 登録ハガキの紛失や住所変更については、カスタマーサポートセンターに連絡してください。

※登録ハガキにご記入いただいた個人情報は有効期限等のお知らせのために利用し、本目的以外には使用せず、第三者に提供しないことをお約束いたします。

マイラン製薬カスタマーサポートセンター

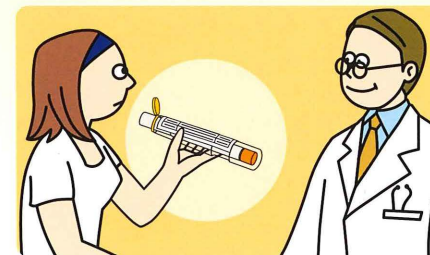


0120-194-701 (無料)

エピペン[®]のホームページとカスタマーサポートセンターのご案内

エピペンのホームページ

エピペンのホームページ (<http://www.epipen.jp/>) でも
エピペンの使い方や注意事項等がご覧いただけますので、
ご参照ください。



アナフィラキシー対策フォーラム

アナフィラキシーに関する情報につきましては、
「アナフィラキシー対策フォーラム」
(http://www.anaphylaxis.jp/index_flash.html)
をご参照ください。



●お問い合わせにつきましては、「カスタマーサポートセンター」までご連絡いただきますようお願い致します。

マイラン製薬カスタマーサポートセンター



0120-194-701 (無料)

エピペン[®] 注射液 0.3mg エピペン[®] 注射液 0.15mg

アドレナリン注射液

マイラン製薬カスタマーサポートセンター（資料請求先）
 **0120-194-701**（フリーダイヤル）
www.epipen.jp

製造販売元
マイラン製薬株式会社
大阪市中央区本町2丁目6番8号